

第20回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

当セミナーは1999年よりスタートして以降、今回で20回目を迎えることとなりました。これもご参加いただいたみなさまやご支援・ご協力をいただいたみなさまのおかげです。この場をお借りしてすべてのみなさまに厚く御礼申し上げます。今後も時代のニーズに合わせながら、在日コリアンをはじめとする在日外国人の人権問題を広く啓発し、民族差別を解消するために寄与してまいりたいと存じます。

さて、節目の20回目を迎えるにあたり、今セミナーでは原点に戻り、在日コリアンの人権問題を考えるための基本的な事項(歴史、運動、外国人政策)を中心に講義を編成しました。そして現代的課題である「ヘイトスピーチ」について調査と証言から、その問題と今後の課題を明らかにしていきたいと思えます。

－開催要項－

【日程】

第1期 2018年 6月14日(木) 15日(金)

第2期 2018年 9月28日(金)

第3期 2019年 3月1日(金)

【会場】貸会議室内海2階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル2階
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定員】80人

【参加費】・受講料 27,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 6,000円(フィールドワーク)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

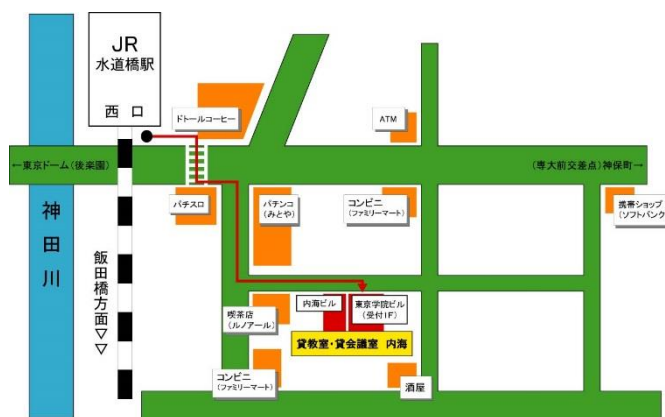
*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

6月4日(月)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒に渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱UFJ銀行	生野支店	普通預金	3936599
名義	一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター		
理事長	仲尾宏		



【第1期講座】

一日目（6/14）

講義① 在日コリアン人権運動の過去・現在、そしてこれから ー在日コリアン人権啓発東京セミナー20年を中心にー

講師 ^コ高 ^{キョン}敬 ^{イル}一さん（KMJ事務局長）

在日コリアンの生活・人権を守るための闘いは戦前、戦後から続けられ、1970年以降に全国的な大衆運動として拡がり、80年代、90年代でピークを迎え、2000年以降は深化とともに、組織や課題が細分化していきました。当セミナーはまさにその時期からスタートし、今に至りました。20回を機に、在日コリアン人権運動の各時代における取り組みや課題を整理し、この20年を中心にしながら、これからを模索していきたいと考えています。

講義② 在日コリアン人権問題の基礎 ー戦後日本の在日外国人政策を中心にー

講師 田中 宏さん（一橋大学名誉教授）

在日コリアンをはじめとする在日外国人の人権問題を考えるにあたり、バイブル的な書籍『在日外国人』の著者であり、机上の研究者ではなく、実践に取り組む研究者である田中宏先生に、長年の取り組みを振り返っていただきながら、在日コリアンの人権問題の基礎的なテーマとして戦後日本の在日外国人政策について明らかにしていただきます。

講義③ インターネットにおけるヘイトデマと レイシャルハラスメントー熊本震災調査よりー

講師 ^{チヨ}曹 ^{キョン}慶 ^ホ鎬さん（立教大学社会学部教育研究コーディネーター）

2016年に発生した熊本震災でも、東日本大震災時のように、「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などのさまざまな「ヘイトデマ」がSNSなどで流布されました。このようなSNS上の「ヘイトデマ」が昨今注目されているレイシャルハラスメントにも結びついているという現状があります。在日3世の研究者である曹慶鎬先生は、熊本震災での「ヘイトデマ」の調査を行い、その実態を明らかにされました。それがレイシャルハラスメントとどう結びついていくのか、明らかにしていただきます。

***第1期講義終了後、懇親会を行いますので、参加ご希望の場合はお申し込み下さい。**

二日目（6/15）

講義④ フィールドワーク 「千葉・柏の戦争遺跡と在日コリアン」

案内 柏歴史クラブ

アジア・太平洋戦争末期、1944年6月から始まるB29との本土防空戦において、千葉の柏飛行場の戦闘機隊は調布、成増、松戸とともに、首都防空の陸軍主要部隊でした。中でも柏飛行場は、B29決戦兵器、ロケット戦闘機「秋水」配備基地として予定され、海軍の厚木基地とともに、敗戦の日まで、ロケット燃料貯蔵設備などの建設が進められました。その建設には多くの朝鮮人労働者が動員されています。今回のフィールドワークはこれらの戦争遺構を調査された「柏歴史クラブ」のみなさまに、ご案内いただき、この地域がアジア・太平洋戦争時にどのような位置づけを与えられ、どのような役割を果たしたのか、そして朝鮮人はどのように扱われたのかを明らかにしていきます。

① 柏飛行場跡（柏の葉）

柏飛行場は、日中戦争当時に開設され、アジア・太平洋戦争の敗戦まで使用されました。戦争末期には、1回の飛行で2トンもの燃料を消費するロケット戦闘機「秋水」が配備されようとした飛行場でもあります。柏飛行場跡地は、多くは住宅地や公園、官庁、学校の建ち並ぶ街に変わりましたが、その中に今も残る営門跡や弾薬庫、ガス庫、掩体壕など、生々しい戦争遺跡があります。

② 秋水燃料庫（花野井）

「秋水」のエンジンは2種（甲液・乙液）の燃料を衝突・燃焼させ、推力とする液体ロケットエンジンでした。甲液と乙液が混じれば大爆発の危険性があることから、燃料庫は頑丈なコンクリート製で、花野井に5基、大室に3基が建設されました。大室側はなくなりましたが、花野井には1号・5号基が敗戦後とほぼ同じ状態で残っています。



③ 高射砲連隊訓練棟（根戸）

高射砲第2連隊は、1937年に市川市で開隊し、38年に根戸に移転しましたが、アジア・太平洋戦争が始まる直前に東京に移動、根戸に残された補充隊も43年に廃止されました。跡地には留守近衛隊第2師団の歩兵、工兵補充隊が入りました。現在は、全国的にも大変珍しい「訓練棟（照空予習室及測遠器訓練所）」が残っています。



*フィールドワークについて

- ①集合は午前9時30分につくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」解散は午後5時に常磐線「北柏駅」となります。
- ②歩きますので軽装、スニーカーなどでお越し下さい。
- ③昼食などのその他の情報は参加者のみなさまに後日お知らせします。

【第2期講座】（9/28）

講義⑤ アジアの中の日本と在日コリアン

ー積み残された課題とこれからー

講師 内海 愛子さん（恵泉女学園大学名誉教授）

在日コリアンの人権を考える上で、日本の朝鮮植民地支配と戦後補償問題は切り離すことができません。いまだに燻るこの問題に対して、何が問題で、どうすればいいのか。長年この問題に携わってこられた内海先生より明らかにしていただきます。

講義⑥ 朝鮮通信使ユネスコ世界記録遺産登録から考える 日本・朝鮮、そして在日コリアン

講師 仲尾 宏さん（京都造形芸術大学客員教授、KMJ理事長）

2017年11月、朝鮮通信使にかかわるさまざまな記録がユネスコ世界記録遺産に登録されました。その登録は日韓の民間団体が共同で行いました。その共同作業はこれからの日本と朝鮮半島、そして在日コリアンを考える上で大きなヒントとなるはずです。その中心となった仲尾先生に、その意義とこれからについてお話をいただきます。

講義⑦ ヘイトスピーチをのりこえて

講師 ^{パク} ^{ホン} ^{シル} 朴 洪 実さん（在日3世、翻訳業務、ネットショッピング経営）

日常生活の中で、突如、差別を受ける。SNSが発達し、誰もが気軽に電子上の繋がりを持てるようになった今、頻繁に起こるようになりました。朴さんも、自身が運営するフェイスブック上で、差別を受けました。そのときの思いを中心に、“普通”の在日の生の声を聞かせていただきます。

【第3期講座】(3/1)

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

[ドキュメンタリー映画上映](117分)『沈黙－立ち上がる慰安婦』(2017年)

[トーク](50分) 朴 壽 南さん(監督)



今年 91 歳になる李玉先（イオクソン）さんは、16 歳で北満州の慰安所に監禁された。李さんは、戦後 50 年を経てその沈黙を破り立ち上がる。1994 年、14 人のハルモニが日本政府に謝罪と個人補償を求めて来日。「法的責任は解決済み」とする日本政府に対し、被害者だけが集まり直接交渉を開始した。慰安婦問題に光をあてた在日朝鮮人 2 世の朴壽南（パクスナン）監督は、被害者たちの闘いに寄り添い、その恨（ハン）を映像に記録した。あれから 20 余年、闘いの主人公の多くが亡くなった今、日韓両政府が合意した「解決」は果たして当事者の問いに答えているのだろうか。90 年代当事者たちの苦闘を共にした朴監督が密着した記録と李さんの人生をつむぎ、生き証人たちの沈黙を未来に伝える。

【スケジュール】

6 / 1 4 (木)	6 / 1 5 (金)	9 / 2 8 (金)	3 / 1 (金)
9:30 受付開始	9:30 「柏の葉キャンパス」 駅集合	9:30 受付開始	13:30 受付開始
9:55 開 会	10:00 座学と柏飛行場跡見学	9:55 開 会	14:00 講義⑧
10:00 講義①	12:00 昼食	10:00 講義⑤	17:00 終 了
11:50 昼 食	13:00 秋水燃料庫見学	11:50 昼 食	
13:00 講義②	15:00 高射砲連隊訓練棟見学	13:00 講義⑥	
14:50 休 憩	17:00 「北柏」 駅解散	14:50 休 憩	
15:00 講義③		15:00 講義⑦	
16:50 閉 会		16:50 閉 会	
17:00 終 了		17:00 終 了	

*フィールドワークの行程は変更する場合がございますのでご了承ください。

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで
〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : <http://kmjweb.com>

第20回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(FAX 06-6717-2702)

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、田中先生の講義のみ聴講したい場合は②、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

①在日コリアン人権運動の過去・現在	そしてこれから	高敬一さん
②在日コリアン人権問題の基礎		田中宏さん
③インターネットにおけるヘイトデマとレイシャルハラスメント		曹慶鎬さん
④フィールドワーク	千葉・柏の戦争遺跡と在日コリアン	
⑤アジアの中の日本と在日コリアン		内海愛子さん
⑥朝鮮通信使ユネスコ世界記録遺産登録から考える	日本・朝鮮そして在日コリアン	仲尾宏さん
⑦ヘイトスピーチをのりこえて		朴洪実さん
⑧映像とトーク「沈黙－立ち上がる慰安婦」		

フリガナ		勤務先名	
受講者		担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）

☐ 第1期講義（6/14 木曜日）終了後の懇親会に参加（ 名）

事務確認欄（事務確認欄は記入しないでください）

受付No	受付日	入金日	担当者	備考